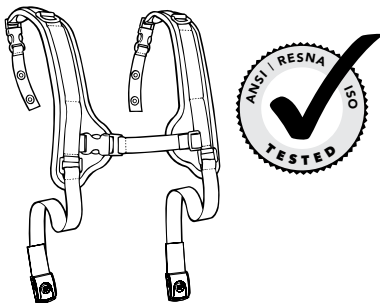


H型肩部ハーネス

ART NOS. SH210, SH220



この説明書にはBodypointのすべてのH型肩部ハーネスの安全な使用とメンテナンスに必要な重要情報が記載されています。使用者またはその介護者にこの説明書を渡し、内容を説明して、使い方を理解していることを確認してください。

⚠ 警告! 製品は有資格のリハビリ技師が取付け、固定してください。

取付けの際、本製品は以下の物と取付けてください。

Flat-mountエンド フィットting

Cinch-mountエンド フィットting

カムバックル (体重75kgまでの使用者には)

車椅子や座位保持装置への取付けには、オプションのBodypointベルト取付けハードウェアを使用することができます。

⚠ 警告! 窒息の虞があるため、骨盤部を安定させずに本製品を使用するのは危険です。常にしっかりと固定した骨盤支持ベルトと共に使用してください。

⚠ 警告! 本製品は車椅子に座っている人の位置決めのみ使用してください。輸送用安全装置、個人用拘束装置としての使用、または故障が傷害を招く可能性のあるその他の適応での使用は意図していません。本製品の誤用は認可されず、危険です。

⚠ 警告! 本製品が誤って外れると、使用者が前に倒れる可能性があります。使用者の動作または認識能力によって誤って外れる可能性がある場合、使用中は常に介護人が付き添う必要があります。介護人は必ず本製品の外し方を知っておく必要があります。これができないと、緊急時に取り外しが遅れる恐れがあります。

⚠ 警告! 新しい座位保持装置と同様に、この製品により人の座り方が変わる可能性があります。使用者

は、この製品が使用者に接触する部位だけでなく、仙骨、脚、臀部など圧力を受ける主な部分について、通常の圧力開放と皮膚の完全性チェックを引き続き実行しなければなりません。皮膚の赤みが増したり、炎症が起さる場合は、使用を止めて、医師がシーティングの専門家に相談してください。そのままにしておくと、褥瘡など重傷を負う恐れがあります。

メンテナンス: 縫い目、ウェビング、パッドに摩耗の兆候がないか、定期的に点検してください。大きな摩耗があった場合は、サプライヤーに連絡してBodypointの認定修理または交換を受けてください。いかなる場合も、資格のない人がこの製品を変更したり、修理したりしないでください。健康と安全がそれにかかっています!

洗濯: 洗濯機洗い、温水、60°C (140°F)。漂白しないこと。乾燥機乾燥、低温、またはそのまま干して乾燥。アイロンをかけないこと。(洗濯中は製品を布袋に入れ、製品やマシンに傷が付かないようにしてください。)

保証: この製品には、オリジナルの消費者による正常な使用から生ずる材料および仕上がりにおける瑕疵に対する生涯限定保証が付いています。保証請求については、サプライヤーまたはBodypointに連絡してください。

Bodypoint製品の詳細情報、および米国外の販売代理店の一覧は、www.bodypoint.comをご覧ください。

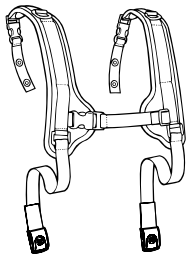
BP Bodypoint®

EC REP

MDSS GmbH
Schiffgraben 41
D-30175 Hannover
Germany

CE

558 First Ave. S., Suite 300 | Seattle, WA 98104 | 206.405.4555 | 800.547.5716 | www.bodypoint.com



パッケージの内容

肩部ハーネス

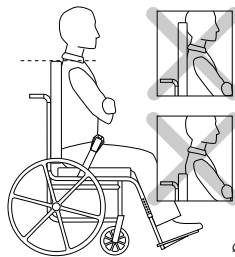
Cinch-mountまたはflat-mountエンド フィットティング
カムバックル (オプション、物品番号Fs032-2)



取付け

使用者に車椅子に座ってもらい、骨盤支持ベルトで姿勢を正します。首部と肩関節の間に上部ストラップと共にハーネスを使用者に置きます。

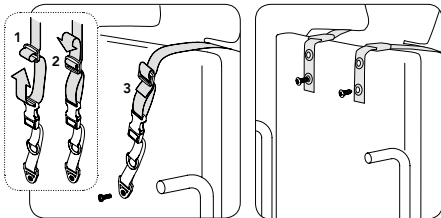
ネス：胸骨ストラップを胸骨の中央に置きます。



Ø5-6mm (3/16 - 1/4")

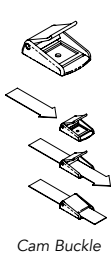
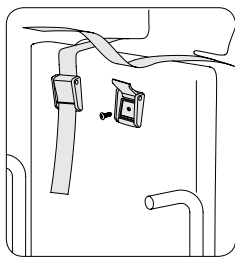
取付け要件

1. 固体製の背もたれまたはストラップガイド付きの車椅子は、およそ肩の高さにセットされます。(圧力配分のため、上下に調節してください)
2. 最低90kg/200ポンドの引抜き強度のある取付けねじ。同梱されていません。



上部ストラップ

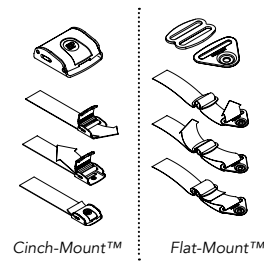
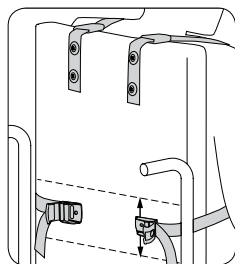
1. 使用者の肩幅と座位に従って、各肩ストラップを快適に固定するよう調節します。取付けねじに着目してこの位置を保持します。
2. 適切な留め具を使用して背もたれに装着します。



Cam Buckle

直接取付け

リアバージョンのみ。側方解放バックルで上部ストラップを外します。ウェビングをプラスチック製スライドから引き出します。適切な留め具を使用してカムバックルを背もたれに装着します。ウェビングをバックルに突き通します。体重75kgまでの使用者に適切です。



Cinch-Mount™

Flat-Mount™

下部ストラップ

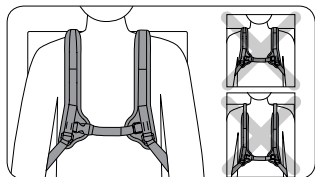
車椅子の他の装置を妨害しないようにして下部ストラップを背もたれの周りに巻きます。

背中中央部から下部までの間の骨盤の上部にエンド フィットティングを取付けます。適切な留め具を使用して背もたれに装着します。



固定

使用者を車椅子に配置し、骨盤支持ベルトをしっかり締めしてから、肩部ハーネス、胸骨ストラップを使用する場合はこれらをバックルで留めます。胸骨幅を調節し、胸骨ストラップが乗り上がるのを防止するため下部ストラップを調節します。次に上部ストラップを締めてパッドを位置決めし、使用者を適正に支持します。



安全点検

車椅子に適正に配置したら、使用者に前方や左右交互に傾いてもらい、固定を確認します。確認事項：

1. バックルや調節ストラップの正常な動作。
2. 快速度 - 首部にすれるようなら、上部ストラップを再配置します。
3. 位置 - 高すぎたり低すぎたりすれば、下部ストラップを調節します。
4. 他の装置の妨害 - 必要に応じてストラップを再配置し、車椅子の傾斜機構、肘掛け、付属品パッドや、栄養チューブから妨害物を取り除きます。